



発行: 滋賀県湖東健康福祉事務所(彦根保健所)健康づくり担当

滋賀県健康づくりキャラクター

しがのハグ&クミ

3月1日～8日は女性の健康週間です。

女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごすことを総合的に支援するため、国民運動として女性の健康週間があります。

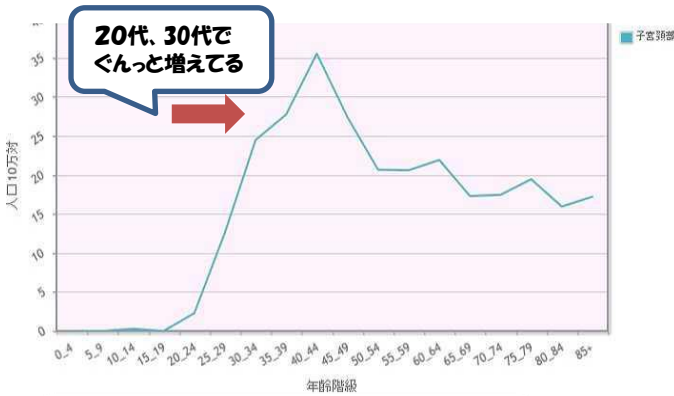
女性が自らが健康に目を向け、自らが健康づくりを実践する、まずはその一歩に、がん検診を受けてみてください。女性特有のがんは働き盛りの女性の年代に多く発症します。若いから、元気だから平気なわけではありません。

まずは予防、そして早期発見。

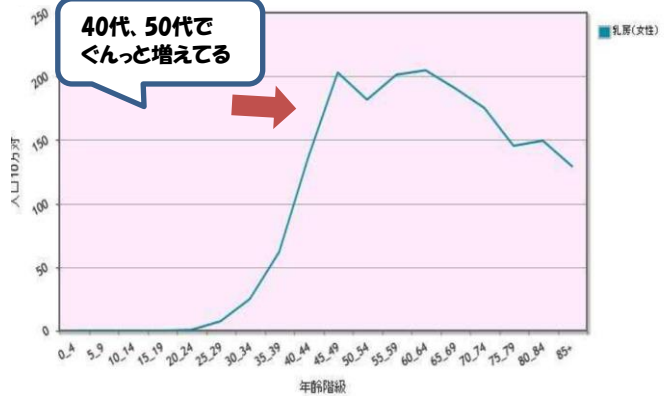
検診のリピーターになって、あなたの健康を守ってください。

子宮頸がんの年代別発症率

(人口10万人対)



乳がんの年代別発症率



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information / National Cancer Center, Japan

子宮頸がん検診について
子宮頸がんは20～30歳代の若い女性に多いがんです。
初期には自覚症状が出にくいので、20歳になったら2年に1回定期的に受けましょう。



乳がん検診について
乳がんは女性に一番多いがんです。40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しています。
検診は40歳になったら、マンモグラフィというレントゲン検査をもちいて2年に1回定期的に受けましょう。

～～～男性の方へ～～～

「女性の健康週間」ときいて、「自分は関係ないな」と思われたのではないのでしょうか。でも、男性にとっても、ご自身の家族や、パートナーの健康を守ることは大切なことです。ぜひ、家族に「検診うけた？」と声をかけて欲しいのです。

そんな小さなことがきっかけで、守られる命もあると思います。